

学校名	只見町立只見小学校
授業者	伊藤 崇史

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

只見町の抱える課題と未来展望Ⅱ「八十里の開通と只見町について考えよう」

1-2. 学年

第6学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習, 国語, 道徳, 理科, 社会

1-4. 単元の概要

本単元は、これまで学習してきた只見のよさや課題、町の人々の願いをふまえ、自分が地域の一員として、只見町にこれからどのように関わっていくのかを考え、未来のまちづくりについて提案することがねらいである。

数年後の八十里越(国道289号)の開通によって、日本海側からの人や文化の交流が活発になることが予想される他、新潟空港を発着とした海外との交流も見込まれる。これらは、町の今後の発展に大きく影響するものと思われる。

本単元では、八十里の開通を切り口に、海とのつながりを意識した町づくりについて考え、提案できるようにしていきたい。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

只見町はユネスコエコパークに指定され、自然が豊かである。また只見町は、数年後には八十里越(国道289号)が開通する予定であり、近い将来に三条市と結ばれ、新潟県、日本海と非常に近い町となる。そのことが未来の只見町の発展にとってどのような影響を及ぼすのかについて学ぶことによって、自分が只見町の発展にどのように関わって生きていくのかについて考え、提案することができる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

只見町の将来の担い手として、只見町について高い関心を持ち、海とのつながりを意識し、進んで調べたり体験したりして考えたことを、自分の言葉で表現、提案し、行動できる子どもの育成

1-7. 単元の展開（全 10 時間）

時数	学習活動・主な内容	○教師の指導 / 主な評価(アイウエ) ※外部連携 / ☆使用教材等
2	アンケート結果から分かることを分析し、町の人々の願いを知る。	○ アンケートを分類し、願いを明らかにさせる。 ア アンケート結果から町の人々の願いを読み取ることができる。（観察・ふりかえり） ※ アンケート依頼先：朝日小，明和小，只見中，只見高，保護者
1	近い将来に国道289号が開通した場合の只見町への影響について、ゲストティーチャーから話を伺う。	○ ゲストティーチャーから話を聞き、八十里の開通による只見への影響について、理解を深めさせる。 エ ゲストティーチャーの話から、八十里越の開通が只見の発展に欠かせないものであることに気付くことができる。（観察・ふりかえり） ※ GT：町役場観光商工課
2	これまで体験してきたこと、町の人々の願い（アンケート）、将来の只見町に取り入れたいことを総合して、どのような町にしたいかを話し合う。	○ 調べたことをもとに、町の人々の願いについて整理し、どのような町にしたいかを話し合わせる。 エ 自分たちの町の将来について総合的に考え、意欲的に話し合うことができる。（観察・ふりかえり）
4	グループごとに話し合い、提案するアイデアを決める。	○ グループで将来の只見町について取り入れたいことについて話し合わせる。 ウ グループで協力しながら発表する提案を決めることができる。（観察）
1	グループの提案について、海外での取り組みを聞き、自分たちの提案に生かせるように話し合う。	○ オークランドの子どもたちから、ニュージーランドの町づくりの取り組みについて聞き、自分たちの提案を再考させる。 イ オークランド日本語補習校の児童から海外での取り組みを聞くことで、自分たちの提案を見直すことができる。（観察） ※ 交流：オークランド日本語補習校
1	海外での取り組みを受け、提案を修正する。	○ 前時で学んだことをもとに、もう一度自分たちの考えを見直させ、修正させる。 ア グループで協力し、提案を修正することができる。（観察）

<評価の観点>

ア よりよく問題を解決する。

イ 学び方やものの考え方

ウ 主体的、創造的、協同的にとりくむ態度

エ 自己の生き方

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ



単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

オークランド日本語補習校の児童に自分たちの提案を発表し、海外での取り組みについて聞くことで、提案を見直すことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	○教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 単元のゴールを確認し、本時のめあてをたてる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">海外での取り組みを受けて提案を見直そう。</div> <p>2 グループの提案を発表し、オークランドの子どもたちに質問に答えてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質問を含めて各グループ 15 分で 2 グループ順番に発表を行う。(働ける場所がある町グループ、環境の町グループ) ・ プレゼンテーションソフトを使って発表する。 ・ 只見小の子どもたちからオークランドの子どもたちへ、ニュージーランドなどでの先行事例などについて質問し、答えてもらう。 <p>3 聞いたことを整理し、グループで話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに知ったこと、只見との共通点など、気付いたことについてグループで話し合う。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">  </div> <p>4 本時のふりかえりをする</p>	<p>○ 最終的には東京で発表会に参加することを確認することで、提案をより具体的なものにしていく必要性を感じさせる。</p> <p>○ オークランド日本語補習校には事前に資料と質問内容を送付し、建設的な意見がもらえるように十分に打合せをしておくようにする。</p> <p>○ 海外での取り組みを聞く場を設けることで自分たちとは異なった文化や習慣、共通点に気付くことができるようにする。</p> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">  </div> <p>○ 海外での取り組みを聞く場を受けて、話し合わせることで自分たちの提案を再考できるようにする。</p> <p>○ 新たに知ったことはなかったか、似ている取り組みはなかったかなど声を掛けることで、活発に話し合いができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">海外での取り組みを聞くことで、自分たちに提案を見直すことができる。(観察)</div> <p>○ ワークシートに本時のふりかえりを記入することで、次時の学習へつなげる。</p>

3. 今回の活動の自己評価

- 本時までの準備の段階では、只見のことを知らない人にも自分たちの提案を理解してもらおうと、相手意識を持って発表の練習や資料づくりを進めることができた。
- 子どもたちの疑問をもとに、町役場や地元のスーパー、観光協会、地元の米農家など聞き取り調査に出かけたり、電話やFAXなどで質問したりすることで、地域の人材を積極的に活用することができた。
- 海を越えて他地域と交流することで、新しいつながり築くことができた。
- 子どもたちの将来を考える上で、国語や社会で学んだことを十分に生かすことができたことは大きな成果となった。

4. 今後の課題

- 相手意識を持った話し合いや交流をさせるためにも、日常から教師のコーディネートが必要である。
- 時差や教育課程の違い、通信環境など、海外の学校と連絡を取り合うことの難しさを感じた。特に通信環境については、今回は町の教育委員会に準備をお願いしたが、設営がかなり大変だった。
- ふかめる段階で、聞いたことを分析していく必要があった。発表は難しかったと思うが、教師のコーディネートがあるとオークランドの児童との交流ももっとうまくいったと思う。
- 黒板をもっと活用できればよかった。聞いたことをふせんに書いてはり、つなげるものはつなぐなどできればもっと学びが深まった。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・ 時差の関係で打ち合わせや授業の時間の調整が難しかったり、学んでいるカリキュラムが違うため、同じ教科や目的で学習をすることができなかつたり、海外の学校と交流を図ることは、非常に大変だった。通信機材についても、学校では揃わないため、教育委員会で準備していただいた。今回、交流の相手が日本語補習校ということで、日本語で交流ができたり、こちらの意図をくみ取って配慮していただいたりしたおかげで交流を実現できたが、ゼロから交流相手を探す場合は、時差や学校、子どもの実態等さまざまな条件を考慮するべきであると考えます。ICTの整備は早急に進める必要がある。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝，10.5ポイント / マージン：上下端20mm，左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。